

## 日本株ファンドマネージャーの視点 『笑う門には福来る？』

※このレポートでは、日本株ファンドマネージャーが注目しているトピックなどを毎週お届けします。

仕事柄、若いうちから経営者の方と面談する機会を数多くいただいています。私は経営者の資質や能力について語るほどの経験や知識は持ち合わせていませんが、明るい人が経営している会社の方が魅力を感じますし、会社がうまくいっているような印象を持ちます。

先週、大手運輸会社の社長と面談させていただきました。その中で印象に残ったことが、「これまで投資家、特に機関投資家とのコミュニケーション方法が分かっていなかった」と役員や担当部長の方と反省したことについてざっくばらんに教えていただいたことです。長い歴史をもつ大企業の社長が、笑いをはさみながら謙虚におっしゃる姿に、社内の風通しの良さを感じましたし、意思疎通がしっかりとできていそうな雰囲気を感じました。

他にも印象に残っている明るい社長としては、食品企業や、繊維企業、フィットネスジム運営企業が挙げられます。食品企業の社長は、役員陣の大幅な刷新を行い、グローバル体制への転換を提言した社外取締役も驚くほどのスピードで舵を切られました。今では、経営と執行の分離が明確で、取締役会での議論が以前に比べて非常に活発になったとおっしゃっていましたが、社長のキャラクターによるところも大きいように感じました。繊維企業については、IT化戦略を主導したアイデアマンの社長でした。今伸びている商品も社長のもとで商品化されたそうで、部下もアイデアを提案しやすそうな印象を持ちました。フィットネスジム運営企業の社長は、同業他社の施設との比較を、ユーモアを織り交ぜてお話して下さいました。そこから、従業員に対して顧客との会話を増やすように言っておられる姿もイメージすることができました。

このような例をもとに、明るい人が経営していることの好影響について弊社チームリーダーと議論しながら、考えてみました。はじめに、投資家として私が感じるのは、安心感です。確かに上で挙げた方々は、会社を変革させてきた実績をもっています。それが安心感に繋がっていることは否定しませんが、そのお話しされている様子から、将来に対する自信がうかがえました。そして、投資をしたいと思わせられます。次に、社内に対する好影響として、不正や大きな失敗が起こりにくくなると思います。キリキリとした雰囲気の中では、悪い報告はしにくくなると思うからです。まして人手不足の時代にパワーハラスメントは論外でしょう。他には、議論が活発化することはもちろん、新しいアイデアも出やすかったり、仕事もやりやすかったりするのではないのでしょうか。

投資を決定する際に、社長の明るさのみで判断するわけではありませんが、このような点から重要な要素だと考えています。なお、弊社運用チームは明るさだけは保って運用できていると思います。

株式運用第一部  
部奈 和洋

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在におけるレポート作成者の判断に基づくものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん

大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会